

簡易郵便局を訪ねて 112

冬には雪像がお出迎え、歩いて行ける簡易局を大切に

かまや 釜谷簡易郵便局（北海道木古内町）



局長
安齋 彰

地域で頑張っている簡易郵便局を紹介します。



当局は、津軽海峡が目前に広がる道南、北海道新幹線が最初に停車する駅がある木古内町の、町内では函館に一番近い地区の国道沿いに在ります。

二〇〇八年に、お隣の前局長さんが「高齢のため閉局したいのだが、この局は無くしたくないので代わりに引き受けてくれないか」



釜谷簡易郵便局外観



窓口の様子

と、お声掛けをして下さいました。私は祖父も父も兄も郵便局勤めという家系でありながら、私自身それまで全く郵便局に関わっていませんでした。その私へ簡易郵便局受託の話が来たことに何か運命的なものを感じて引き受けることを決意し、二〇一〇年八月に再開局することができました。その後、

二〇一九年からは町議会議員もさせていただき、地域に貢献できることを嬉しく思っています。

ここ木古内町は豪雪地帯であり除雪が大変なので、その雪を何とかできないものかと思い、二十六年前の一九九八年に、大きめの雪だるまを作ってみました。子どもたちがとても喜んでくれました。毎年作成しているうちにレベルも向上し、子どもたちや近所の方だけでなく道行く皆さんも喜んでくれ、期待されるのもあって年々規模が大きくなっていきました。近年ではSNSへの投稿やマスコミなどの取材も受けるようになり、簡易郵便局の局長が作る釜谷の名物雪像として有名になりました。私の子どもたちももう大人ですが、今は雪像作りを手伝ってくれています。

約一〇〇世帯の半数以上が高齢者という地域であり年々人口が減少し、当局のお客さまも段々と減ってきましたが、他の郵便局までは約三キロと五キロと離れており、利用いただいている年金暮らしのお年寄りの方や自家用車を持たない方にとって、歩いて行ける当簡易郵便局は、無いと困る大変重要な存在であると増々感じています。来局されたお客様同士が世間話



雪像と撮影を楽しむ人たち

をする場所として、夏は涼みに顔を見せてくれるだけでも良いと思っています。

これからも、地域のコミュニティスペースとしての役割も持つ、「無くてはならない郵便局」として皆さんに愛され、ご利用いただけるような局であり続けたいと思っています。

住所 〒040-0403 北海道上磯郡木古内町字釜谷九五番地四

